

差出人: 地域連携課 共有 <hkd-as-chiikirenkei@ki.mlit.go.jp>
送信日時: 2025年3月21日金曜日 17:20
件名: 【旭川開発建設部】道北地域づくり通信<第11号>
添付ファイル: アクションプラン：R7ロードマップ（案）.pdf

////////////////////////////////////

道北地域づくり通信 <第11号>

～共に創る、道北の未来～

////////////////////////////////////

※本メールは、これまでに名刺交換させて頂いた方、道北地域づくりワークショップ・交流会にご参加いただいた方、道北地域づくり共創応援企業・団体のみなさまに BCC 送信しています
※各関係者様に情報展開して頂きますと幸いです

みなさまこんにちは

道北地域づくり通信事務局の 旭川開発建設部 地域連携課です。

今回お届けする内容は、

1. 『道北地域づくりキックオフシンポジウム』の開催概要を HP にアップしました！
2. 『アクションプラン：令和7年度ロードマップ（案）』のお知らせです。

-
1. 『道北地域づくりキックオフシンポジウム』の開催概要を HP にアップしました！

先月2月18日に開催した「道北地域づくりキックオフシンポジウム」には、会場とオンライン合わせて400名を超える方に参加していただきました。

ありがとうございました！

シンポジウムの概要として、ニュースレターとダイジェスト動画を、当部HPに掲載しましたので、ぜひご覧下さい！

【旭川開建 HP：キックオフシンポジウムの開催概要】

https://www.hkd.mlit.go.jp/as/tiiki_sinkou/a079ll000000bqny.html#s1

2. 『アクションプラン：令和7年度ロードマップ（案）』のお知らせ

さて、上記のシンポジウムでは、昨年の「道北地域づくりワークショップ」で誕生した16個の「道北地域づくりアクションプラン」をご紹介します、この

「キックオフ」を宣言しました。

令和7年度から「アクションプラン」はいよいよ実行段階に入ります。

そこで、「今後の進め方」として別添「令和7年度ロードマップ（案）」を作成しました。

以下、主な内容等をご説明します。

【令和7年度のゴール】

ロードマップでは、現在のアクションプランを、「実行主体が中心となって練られた、実行性の高いアクションプラン（事業プラン）に再整理」することを、令和7年度のゴールとしました。

【アクションプラン推進チーム(仮)の設置】（STEP2 参照）

ゴールに向けた実施体制を整備するための「検討の場」として、「道北地域づくりアクションプラン推進チーム（仮）」を設置したいと考えています。

チーム設置に向けた関係者によるミーティングを、6～7月を目途に、上川北部・中部・南部のエリア毎に開催したいと思います。

開催の詳細が決まりましたら、皆さまにお声掛けさせていただきます。

【皆さまへのお願い】（STEP1 参照）

ぜひ、チームへの参加をご検討下さい！

そして、改めてアクションプランに記載の「アクション」や「具体的な活動」をご覧ください、主体的に活動したいことの選定や、組織を代表してチームに参加していただける方の選任などを進めていただければ幸いです。

●アクションプランは、旭川開建 HP をご覧ください ↓

https://www.hkd.ml原因it.go.jp/as/tiiki_sinkou/a07911000000bqny.html

なお、ロードマップ（案）の進め方等の内容についてもう少し詳しく聞いてみたい等ございましたら、遠慮なくご連絡下さい。

道北の未来のために皆様と共に熱く頑張って参ります。

ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

宛先追加、配信停止をご希望の方は事務局

（Email hkd-as-chiikirenkei@ki.ml原因it.go.jp） までご連絡ください。

-----MLIT

（送信元）道北地域づくり通信 編集長

■事務局 国土交通省 旭川開発建設部 地域連携課

〒078-8513 旭川市宮前1条3丁目3番15号

TEL 0166-32-3079（ダイヤルイン）

Email hkd-as-chiikirenkei@ki.mlit.go.jp

共に北海道の未来を創る ～第9期北海道総合開発計画～

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/u23dsn0000000fqs.html>

令和7年度ロードマップ ～ 道北地域づくりアクションプランの実行に向けて ～

作成中

250319_地域連携課

令和6年度
機運・キックオフ

令和7年度
実行初年度(実行性の高い体制構築、事業設計)

令和8年度～
事業実行

○多様な関係者との関係づくり

○各イベントパネル展示で「道北未来のためやりたい」アイデアを徴収

○地域づくりワークショップで種を題材に自由アイデアを出し合い、アクションプランをまとめ

○シンポジウムで、アクションプランのお披露目と、共創の取組キックオフ宣言

アクションプラン

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

STEP1：関係機関・団体等による検討開始

- ・現アクションプランから、各団体等で主体的に活動したいプランと、連携したい団体やプランを選定
- ・関係機関・団体内における担当の選任

STEP0：主要な関係機関や団体へ進め方の説明
その後【道北地域づくり通信】にて民間企業含め関係者に検討をご案内

STEP2：
「(仮)道北地域づくりアクションプラン推進チーム(準備会)」
(アクションプランや実施体制の再構築)

STEP3：アクションプラン推進体制毎に検討開始

- ・実行するアクションの再整理と実行性の高い検討体制を構築
- ・アクションの磨き上げ、事業設計（事業プランやスキーム、スケジュール）
- ・事業推進に必要な課題の洗い出し（仕組み、持続的な体制、予算確保等）

・旭川開建では、必要に応じて、場の設定（打合せ、勉強会、WS等）や、議論や検討の支援を行います。
・開発局が直接支援できる施策等については、検討の段階から参加し支援しますし、直接支援が難しいものについては、関係機関や団体との調整や仲介を行います！

(仮)道北地域づくりアクションプラン推進チーム
(進捗状況や課題の共有、情報共有や情報発信)

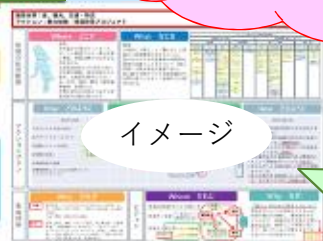
新アクションプランの事業設計

- ・事業設計の検討
- ・次年度以降の進め方を検討

ビジョンに反映

地域づくり
連携会議

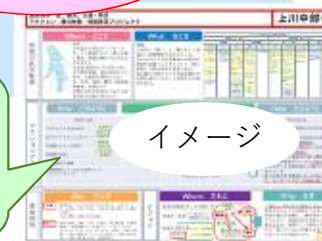
応援企業募集の
取組



イメージ

地域みんなで考えた未来のために「やるべきこと」のアイデア。誰がどのようにもまだアイデアレベル。

【R7年度のゴール】
実行主体が中心となって練られた、実行性の高いアクションプラン（事業プラン）に再整理



イメージ

アクションプランの応援団形成

道北連携地域「アクションプラン」を実行

道北地域づくり推進ビジョン アクションプラン実行プログラム（案）

作成中
250303_地域連携課

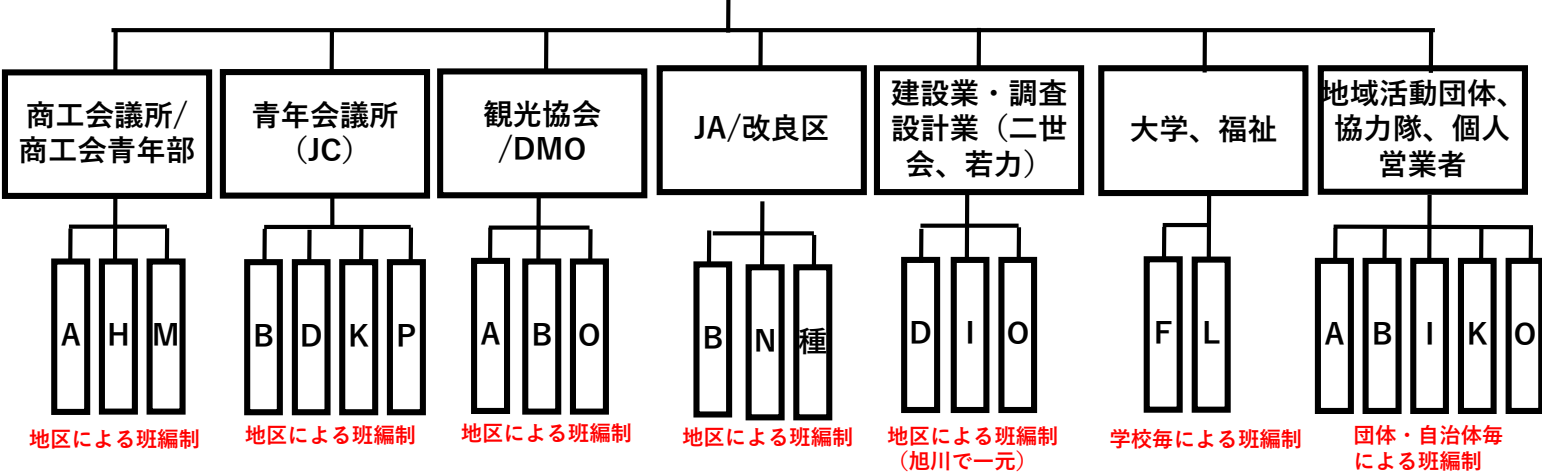
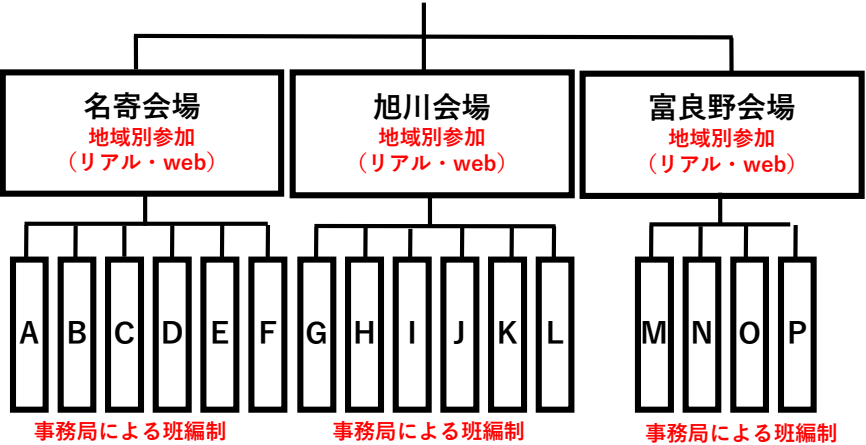
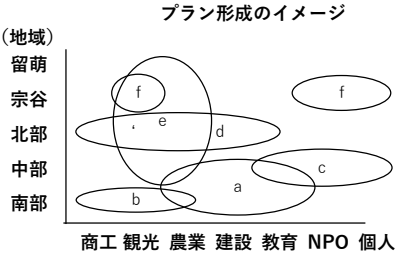
アイディア出し・キックオフ フェーズ（2024年度）
機運醸成、未来を思い描き自由にアイディア出し

アクションプラン実行初年度 フェーズ（2025年度）
実施や推進体制を構築、事業設計を形成

R8年・2026年度～
事業実行フェーズ

道北地域づくりワークショップ
主催・指針：第9期北海道総合開発計画
（食、観光、脱炭素化、暮らし、交通・物流、安心・安全）
参加者：市町村、商工、観光、業界、民間
企業などのフリー賛同者

道北地域づくりアクションプラン推進チーム（仮称）
内 容：情報共有の場、議論の場、
参加者：各分野の若い世代の主要メンバー、自治体関係
担当レベル、個人・団体
→相当大人数になるので地区に分けることも検討

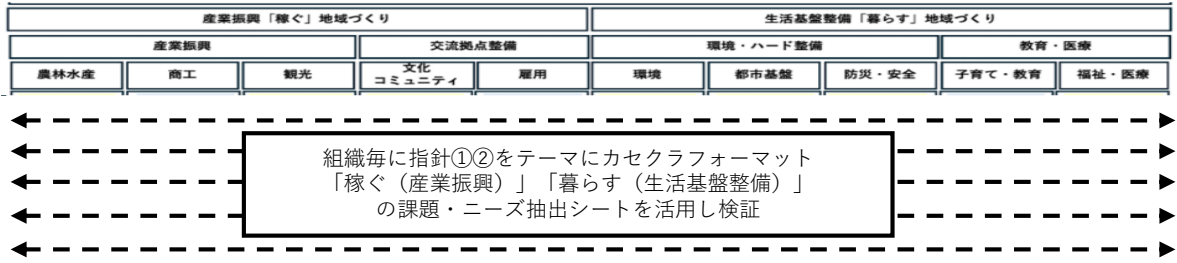


16アクションプランの共有・設計実証
（連携・共創プラットフォームのたたき台）の設計

次世代を主体にした実行可能なアクションプランの設計
（たたき台を参考にした事業計画）の設計。申請

アクションプランまとめ		
地域の現状整理（各所） ワーク①②③	プラン設計 ワーク④⑤⑥	コミットメント ワーク⑦
ワーク① 地域紹介シート概要	ワーク④ 地域課題整理シート概要	ワーク⑦ コミットメント （アクションプラン実行要綱）
ワーク② SWOTシート概要	ワーク⑤ アクションプラン概要	WHAT（なぜ） 達成する地域課題
ワーク③ SOSOシート概要	ワーク⑥ ネットワーク概要	WHO（だれが） ネットワーク
		WHERE（どこで） 対象地域
		WHEN（いつ） アクションプラン年度
		HOW（どうやるか） アクション

青年会議所（JC）
二世会（建協）
商工会議所/商工会青年部
地域活動団体協力隊・企業人
大学・専門学校



アクションプランまとめ		
地域の現状整理（各所） ワーク①②③	プラン設計 ワーク④⑤⑥	コミットメント ワーク⑦
ワーク① 地域紹介シート概要	ワーク④ 地域課題整理シート概要	ワーク⑦ コミットメント （アクションプラン実行要綱）
ワーク② SWOTシート概要	ワーク⑤ アクションプラン概要	WHAT（なぜ） 達成する地域課題
ワーク③ SOSOシート概要	ワーク⑥ ネットワーク概要	WHO（だれが） ネットワーク
		WHERE（どこで） 対象地域
		WHEN（いつ） アクションプラン年度
		HOW（どうやるか） アクション

道北地域づくりアクションプラン（メンバー分野別）

令和6年12月4日現在

地域	施策分野					アクション	具体的な活動	メンバー	上段：主体メンバー 下段：サポートメンバー											
	食	観光	脱炭素	暮らし	交通・物流				安心・安全	商工会議所、 商工会 （青年部）	青年会議所 （JC）	観光協会、 DMO、 観光業	JA、 土地改良区、 農林水産業	建設業（二世 会）、調査設計 業（若力会）、	地域団体、 地域おこし協力 隊	民間企業 個人事業者	教育機関	医療・福祉	金融機関	メディア
上川 中部 A	●	●			●	●	デジタル技術による豊かな食と観光資源を活かす安心・安全のスマート旭川=AI旭川	主体 メンバー			・観光協会	・JA	・除雪事業者		・アプリ開発会社 ・バス会社、タクシー会社 ・不動産会社 ・自動車メーカー	・ダンス部、各校のダンサー				・北海道開発局 ・北海道 ・市町村
							④スーパーアプリの開発（観光、交通、道路、空き家民泊、EC決済、多言語対応、医療） ⑤デジタル技術を活用した交通手段（ライドシェア、自動運転バス等） etc.	サポート メンバー	・商工会議所		・旅行代理店	・農家 ・ふらのぶどう果樹研究所	・測量設計会社 ・ポーリング会社	・ダンス協会	・北海道エアポート ・空家所有者 ・北海道電力 ・ダンススクール	・NEXCO東日本 ・バス・タクシー事業者	・旭川医大	・医師会		・警察 ・運輸局
上川 中部 B	●	●					地域密着型スポーツチームと観光資源を活用した食リンピック	主体 メンバー			・DMO			・ボランティア団体	・民泊業者 ・イベント企画会社 ・インフルエンサー	・プロスポーツチーム 旭川農業高校				
								サポート メンバー			・観光コンベンション協会	・農家		・はまなす財団	・マスコミ ・食品販売業 ・交通事業者 ・飲食店 ・加工業者	・競技場関連（施設） ・宿泊業（大手ホテル）	・旭川市立大学 ・学校関連 ・旭川農業高校	・医療関連 ・衛生管理	・旭川信金	・文科省 ・農水省 ・旭川開建
上川 中部 C	●	●			●		魅力体験・情報発信プロジェクト	主体 メンバー			・DMO ・旅行会社	・JA ・農家		・ノースコネクション ・地域おこし協力隊 ・スポーツ団体		・大学（学生）				・行政
								サポート メンバー			・観光コンベンション協会	・木工事業者			・飲食店 ・酒蔵 ・交通事業者	・スポーツ施設	・小学校 ・中学校 ・高校 ・大学		・旭川信金	・北海道新聞 ・ケーブルテレビ ・ライナーネットワーク
上川 中部 D	●	●	●			●	観光×食×αの地域づくり	主体 メンバー				・木材事業者 ・農業生産者			・民間					・旭川市 ・旭川開建
							③wildな自然を活かす（農家で雪遊びetc.） ④安全安心・充実した環境での豊かな暮らし ⑤脱炭素de地域づくり	サポート メンバー			・観光コンベンション協会			・文化団体 ・NPO	・動物園 ・飲食店 ・YouTuber				・地域の情報誌	
上川 中部 E		●			●		暮らし密着・ごった煮観光プロジェクト	主体 メンバー			・観光協会				・住民					・旭川他8町
							②住民参加による新規観光イベント企画会議（仮）開催、イベント開催 ③行政や観光協会が主体となる広域連携の仕組みづくり ④広域連携による地域ブランディング、観光PR	サポート メンバー				・農家	・除雪事業者	・文化財団	・食品加工業、製造業 ・交通事業者 ・スポーツ選手					
上川 中部 F		●	●	●		●	散走（自転車）生活	主体 メンバー			・観光協会									・市町村
							③環境づくり（駐輪場・荷物預かり・自転車の貸出など） ④SNSなどでの自転車生活のリアルな情報発信 ⑤アプリケーションの導入（通貨・距離・情報） etc.	サポート メンバー						・観光資源の管理者	・アプリの開発・運営会社 ・インフルエンサー ・インスタグラマー ・世界に情報発信できる人	・商店舗 ・学生を含めて日常的に自転車利用する人	・学生サークル	・福祉関係の団体		

道北地域づくりアクションプラン（メンバー分野別）

令和6年12月4日現在

地域	施策分野					アクション	具体的な活動	メンバー	上段：主体メンバー 下段：サポートメンバー											
	食	観光	脱炭素	暮らし	交通・物流				安心・安全	商工会議所、 商工会 （青年部）	青年会議所 （JC）	観光協会、 DMO、 観光業	JA、 土地改良区、 農林水産業	建設業（二世 会）、調査設計 業（若力会）、	地域団体、 地域おこし協力 隊	民間企業 個人事業者	教育機関	医療・福祉	金融機関	メディア
上川 北部 A		●		●	●		川の駅プロジェクト～自然のワイズユース～	主体 メンバー					・天塩川ネイチャーセンター						・北海道開発局 ・北海道 ・市町村	
		●		●	●		③河川資源維持・活用のルールづくり「天塩川川釣り特区」 ④ツアーガイド育成（学校教育・地元企業） ⑤高速交通網整備（高速道路・ヘリポート）	サポート メンバー	・商工会			・漁協 ・JA		・アウトドアブランドメーカー ・ホテル ・温泉 ・新エネルギー供給会社	・大学		・日本政策金融公庫	・警察		
上川 北部 B		●		●			①ビジネスとの接点を作る ②プロジェクト・ベースト・ラーニングを軸とした教育 ③学生による起業サークルを創る ④アナログを大切に⇒商店街などが教室として活用 ⑤予算を確保する etc.	主体 メンバー	・商工会			・JA	・地域団体	・地域のファシリテーター ・商店街	・教育委員会					
		●		●				サポート メンバー						・地域の企業 ・SNS発信 ・高齢者 ・町内会 ・コーディネーター			・北星信金	・メディア		
上川 北部 C	●	●	●	●	●		①再生可能エネルギーを活用したラストワンマイル・モビリティの実用化 ②再生可能エネルギーを活用した意識高い系観光客誘致	主体 メンバー			・農業婦人部			・バス、タクシー事業者 ・旅館・民泊業者 ・商品開発事業者 ・生産者 ・アウトドアガイド	・名寄市立大学				・市町村	
		●	●	●	●			サポート メンバー			・観光協会		・産業技術総合開発機構	・新エネルギー ・自動車メーカー ・自動運転EV事業者 ・YouTuber ・地域のインフルエンサー			・北星信金	・新聞社 ・地域FM	・北海道開発局 ・北海道経済産業局 ・名寄市 ・士別市	
上川 北部 D	●	●		●			①まちのマニアックな良さを体験してもらう活動 ②食を楽しむイベント・食材をつなげる取組 ③マニアックな良さの発信・アピール ④移住・定住のバックアップ	主体 メンバー						・地域のマニアックな良さを 知る人々 ・地域の特徴的な機関	・地域に根差した企業・団体					
		●		●				サポート メンバー		・青年会議所	・観光協会	・JA ・農家		・旅行事業者 ・SNS ・地域住民			・地方銀行 ・信金	・テレビ局 ・地域FM	・北海道経済産業局 ・北海道 ・市町村	
上川 北部 E		●		●	●		①道北各地の魅力の洗い出し ②100プランの設計 ③スタンプラリー等、参加者を増やすための規格の設計	主体 メンバー			・観光協会		・地域おこし協力隊	・バス事業者 ・地域に詳しい町民	・バスガイド	・教育委員会			・市町村	
		●		●	●			サポート メンバー	・商工会			・農家	・スポーツ団体	・SNS ・宿泊事業者 ・航空会社	・アウトドア愛好家			・地方紙 ・地元雑誌	・国 ・北海道 ・姉妹都市	
上川 北部 F		●		●			①コンテンツの発掘と魅力的な観光ルートの検討 ②周辺市町村で連携し、まちごとの季節の魅力、資源を教え合う機会づくり ③雪で道路が止まるなどがあった場合も楽しめる回避道の確保（さまざまなルート・コンテンツを把握） ④道内・道外への積極的な周遊観光のPR ⑤周辺市町村で連携した宿泊情報の共有（空室情報） etc.	主体 メンバー	・商工会など		・観光まちづくり協会 ・観光事業者		・地域おこし協力隊							
		●		●			札幌方面からの観光客を名寄周辺で周遊プロジェクト（都市間高速バス問題）	サポート メンバー			・農林事業者			・飲食 ・宿泊 ・インフルエンサー ・移住者 ・交通事業者	・大学 ・専門学校		・地方銀行 ・信金	・新聞	・市町村	

道北地域づくりアクションプラン（メンバー分野別）

令和6年12月4日現在

地域	施策分野					アクション	具体的な活動	メンバー	上段：主体メンバー 下段：サポートメンバー											
	食	観光	脱炭素	暮らし	交通・物流				安心・安全	商工会議所、 商工会 （青年部）	青年会議所 （JC）	観光協会、 DMO、 観光業	J A、 土地改良区、 農林水産業	建設業(二世 会)、調査設計 業(若力会)、	地域団体、 地域おこし協力 隊	民間企業 個人事業者	教育機関	医療・福祉	金融機関	メディア
上川南部 A	●	●					ひらがな「ふらの」の世界ブランド化	主体 メンバー				・JA			・民間事業者					・市町村
								サポート メンバー				・観光大使	・ふらのぶどう果樹研究所（ロゴ使用）		・（仮称）子ども実行委員会 ・盆地パウダーフェスティバル ・NPO山部まちおこしネットワーク ・へそまつり実行委員会 ・ふらの東山エリアフォトコンテスト実行委員	・動画配信 ・有名作家				・テレビ局
上川南部 B		●		●			行ってみたい・住みたいが「両立する」フラノ・エリア	主体 メンバー								・医療・介護の事業者				・北海道 ・北海道開発局 ・市町村
								サポート メンバー	・商工会議所		・観光協会 ・DMO	・JA ・富良野地方物産振興会			・宿泊事業者 ・旅館業組合 ・飲食店経営者 ・ツアーコンダクター ・不動産会社	・New富良野高校			・地域FM	
上川南部 C				●	●		外から人を呼ぶ×子育て支援プロジェクト～キーワードは「人」・人が支える富良野～	主体 メンバー				・JA		・まちづくり会社	・インフルエンサー	・看護学校				・富良野市
								サポート メンバー						・JETRO（日本貿易振興機構） ・JICA	・インターンシップ受入企業 ・高速インターネット	・海外大学の日本語学校 ・日本語を学ぶ場		・JAバンク		
上川南部 D		●		●			スローライフでデトックス体験プロジェクト	主体 メンバー	・商工会		・観光協会	・若手農工商業者		・地域おこし協力隊	・旅行関係者 ・地元重鎮	・宿泊場所提供者				・市町村
								サポート メンバー					・地元建設業者	・アイヌ協会	・会計事業者 ・広告代理店 ・地元詳しい人			・信金		・国 ・北海道